



Lead【ニュース】

◇ 学生参加企画 はじまる！ 今年度は「あそび隊」 ◇

昨年に引き続き、石井ゼミ生による学生主催広場の企画を行います。今年は、15名(女子14名、男子1名)のゼミ生が、月に1～2回の学生広場を運営します(この活動は、学生がゼミ活動の一環として行う広場です)。学生自身が企画を立て、準備し、実践することを通して、保育者として、社会人として必要な、「計画・実践する力」「仲間と協働する力」の育成を目指します。また、普段の実習ではかかわることのない、保護者との会話やかかわりも視野に入れていきます。

学生は、子どもたちと遊ぶことを求めていますし、保護者のみなさんから話を聴くことを望んでいますが、はじめは慣れない点多々あるかと思えます。ぜひ、あたたかいお声かけをいただけると幸いです。なお、教育・研究のため、学生の学びのためビデオ・写真等を撮影させていただきますがどうかご了承ください。

開催時間 10:00 - 16:00
 費用 無料(たいむ非会員も参加できます)
 スポットタイム 1～2回スポットタイム(プログラム)を行います
 開催予定
 【① 10/10 ② 10/24 ③ 11/14 ④ 12/5 ⑤ 12/19
 ⑥ 1/16 ⑦ 1/30 ⑧ 2/2】



*なお、活動は一斉的に行わず、したい子どもから行います。

◆あそび隊の目的◆学生自身が企画を立て、実践することを通して、保育者や社会人となってから必要となる力を培うために行います。この活動には、通常のスタッフは関わりません。そうすることで、実習のような“従属的”な現場体験ではなく、自らが責任と主体性を持った現場体験を行います。さらに、仲間との協同体験を通して、協調性や協同性を培うことを目的とします。

目的・ねらい

- ①P(PLAN・計画)→D(DO・実践)→C(CHECK・評価)→A(ACTION・改善)の過程から、活動を振り返り次の活動を創る。また、こうした活動を創る意義や必要なことを知り、就業後に生かす。
- ②仲間と協働し、1つの活動を創る体験を通して、“グループの力”グループダイナミクスを感じる。
- ③共に創る仲間の良さや課題も含めて、互いに認め合い高め合う。
- ④子どもにとってふさわしい活動を考え、実証するとともに、子どもとじっくりかかわり、子どもの理解を深める。
- ⑤保護者に、挨拶だけでなく、日常的な会話もできるように積極的にかかわる。

(石井)

■ 子どもの姿から玩具や遊びを見直す ■

たいむの室内・廊下には、対象年齢やコーナーなどを考えて玩具を配置しています。しかし、“玩具での遊びが固定化されつつあり、遊びが展開されにくいこと”“新鮮さに欠けること”などを考慮し、物の配置やその他の環境が十分にされていたかとスタッフ間で話し合う機会を設けました。これを機に、幼稚園児以上の子どもたちが対象化されていた遊びから、日中をたいむで過ごす0～3歳を目安に、主に指先あそびと木製の玩具に的をしぼり、一部ではありますが見直すことにしました。 *** 木製のバランスゲーム**



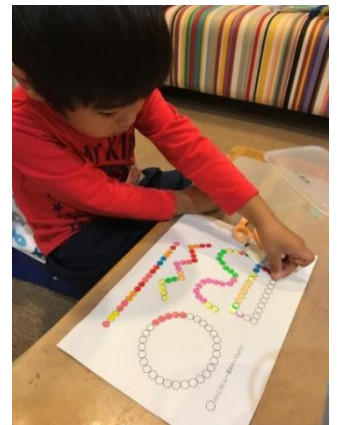
室内の配置を少し変え、木製玩具(指あそび・知育あそび)をコーナーにしてみたことで、「雰囲気が変わったね」「木のおもちゃが増えているね」「このおもちゃ、大人も楽しめるからいいね」と思いのほか好評でした。これにより、4歳から7歳の子どもたちが、友だちと、または親子でじっくりと集中して遊ぶ姿が見られるようになりました。リグノ積み木・ネフスピールを組み合わせてみる子、リグノ積み木やネフスピールを高く積み重ねていく子と様々です。ネフスピールはしばらく眠っていたため、リグノ積み木と組み合わせて遊ぶようにすることで、ブロックとは違う遊び方や想像

像力が育つのではないかと考えました。組み合わせや遊び方はまだ難しいように感じっていますが、少しずつ子どもたちの遊び方にも変化が見られてくると期待しています。

工作コーナーでは、普段からいつでも使えるようにシールが置いてありますが、ただ紙に貼って終わりになっていることが殆どで、じっくりと遊ぶということが少ないと感じていました。そこで、色や大きさで容器を分け、見やすく取りやすいように工夫しました。また、○(丸)で図を描いただけの用紙をシールの大きさごとに用意し、見本の用紙を壁に貼ることにしました。シールの容器と一緒に用紙を置いておくことで、保護者や子どもが気づき、自然に遊びが始まっています。こちらも、1歳後半～7歳前後の子どもたちが自分で配色を考え、丸の枠の中にきれいに貼ろうと集中して遊んでいます。

その他にも、工作コーナーのはさみについても練習用に一回で切れる用紙(画用紙や動物のイラスト)を用意しました。練習の参考になればと、他にも今準備を進めています。ままごとコーナーにはトングを取り入れたことで、以前よりも子どもたちのパン屋・ケーキ屋・レストランなどの“ごっこあそび”が広がってきています。前に手作りトング(割りばしと洗濯バサミで作った)を用意したのですが壊れやすかったため、大きさや持ちやすさにも配慮し本物(握みやすく、滑りにくい)を用意したこともよかったようです。

* シール遊びをする年少児



* 手前リグノ積み木中央ネフスピール



たいむの室内は静せいのあそびが中心となりますが、日々同じ物・同じ遊びになってしまわないように注意し、その都度子どもたちの興味・関心がもてるもの、成長にあった遊びの変化を見逃さぬよう、工夫・改善しなければと痛感しました。今回は玩具に対しての“新鮮さ”“これは何だろう？やってみようかな”という個々の好奇心がもてたのではと考えています。そして、「こういう遊び方があるんだね」「このやり方いいかも」という保護者からの声にも、より伝えられるようスタッフ自身が遊びの環境づくりを学び直す必要があると感じました。指先あそびは、はさみを使う・箸を使うなどといった日常生活に必要な手の動きや力を育てる大切な遊びですので、いろいろな遊びを取り入れていけるようにしたいとも考えています。(本田)

◇ 片栗粉あそび ◇ 9月12日(火) 雨天のため延期 ※10月4(金)に再度企画しています！

片栗粉で遊ぶねらいとして、粉の感触や水を少しずつ加えることで、硬さが変化してくること。また、トロトロとした不思議な感触を親子で思いきり体験できるようにと考えていますので、ぜひ、親子でご参加ください。

◇ 公園であそんだよ！ ◇ 9月13日(水) 10:00～12:00



四季の道にある有吉公園へ散歩に行こう！を計画しました。

当日は、9月中旬にも関わらずとても日差しが強い一日でした。シャボン玉に興味を示し、姉妹で挑戦。試行錯誤を繰り返し、手を大きく動かすとシャボン玉が出来る！と解ると飛び跳ねながら繰り返していました。

公園の周りには、どんぐりの木があり、どんぐり拾いや木のぼりを何度もやりたいとおじいちゃんにリクエスト。子どもは、出来る・・・出来ない・・・を繰り返して一歩ずつ成長していくのだと改めて実感する瞬間でした。

参加人数は一組でしたが、じっくりと関わることが出来ました。普段、車や自転車では気づかない秋の訪れに気づけた貴重な一日となりました。

◇ リズム室あそび ◇ 9月21日(木) 10:00～12:00

短期大学の学生が授業で使用するホールを使い、巧技台や滑り台、トンネル、フープなどを用意して思いきり身体を動かして遊べる時間を設けています。今年度は例年よりも、心身の成長に欠かせない環境作りを意識し、年齢の発達に沿った“^{どう}動の遊び”《物をまたぐ、斜面や段差の昇降、跳ねる、飛び降りる、投げる、走る、ぶら下がるなど》を取り入れることで、親子でのびのびと過ごせる時間にもなっています。今回は、18組38名の参加がありました。

7ヶ月から3歳の子どもたちが参加し、初めてのことに恐る恐る挑戦する子をたくさん見かけました。特に平均台や巧技台で作ったジャンプ台は、お母さんと手を繋いで遊ぶ子が殆どでしたが、遊びに慣れてくると一人で挑戦する子も出てきました。

今月は、2～3歳の子どもたちを中心に、ぶら下がり遊び(握力・腕の力)をふれあい遊びの一つとして取り入れてみました。お母さんの腕ではなく、タオルを使ったタオルクライミングです。タオルを一枚垂らし(子どもの持ち手部分はかた結びをして滑り止めを作る)、タオルにつかまる、ぶら下がるという簡単な遊びですが、3歳のHちゃんは飽きず遊んでいました。まだまだ力が未熟な年齢なこともあり、“つかまってはすぐにマットに落ちる”のくり返しでした。Hちゃんと遊んでいた学生は、応援したり、会話を楽しんだり、互いにふれあうことを喜びながら思いきり楽しんでいました。

のびのびと思いきり身体を動かして遊ぶことで、自然に体力もついてくると考えています。その成長過程に少しでもたいむがお役にたてれば幸いです。

* 一人で平均台に挑戦



* 学生とタオルクライミング



* ずりばいでトンネルくぐり



◆ 片栗粉であそぼう！ ◆ 9月は延期になってしまったので、今回は雨でも遊びます！

「えっ？！片栗粉で遊ぶの？」との声もあるかもしれませんが、意外にも親子で楽しめます！！

片栗粉の不思議な感触を思いきり味わってみませんか？

【日 時】 10月4日(水) 10:00～12:00

※雨天は室内にて時間を短縮して行います。

【場 所】 短期大学 中庭

【持ち物】 着替え・タオル・飲み物など

※ 汚れても良い服装での参加をおすすめします。



◆ リズム室であそぼう！ ◆ 巧技台やフープ、すべり台など、身体をたくさん動かしてあそびましょう！

【日 時】 10月19日(木) 10:00～12:00

【場 所】 短期大学2号館 リズム室

【参加費】 一日会員:100円

※ たいむが初めての方も大歓迎です！

【持ち物】 着替え・タオル・飲み物など



◆ 芋掘り&焼き芋会 ◆ 5月に苗を植えたサツマイモ。今年の芋は大きく育ったかな？

中庭の畑で収穫して、焼き芋をしましょう。

※たいむ受付、または、たいむ直通電話にて予約をお願いいたします。



【日 時】 10月25日(水) 10:30～13:30

※雨天延期

【場 所】 短期大学 中庭・畑

【持ち物】 軍手・シャベル・アルミホイル・着替え・飲み物など、各自必要なもの

◆ たいむ開室時間の短縮のお知らせ ◆

10月5日(木)から10月11日(水)まで、開室時間に変更がありますので予定表をご確認ください。

10月5日(木)・・・10:00-14:00 オープンスペース 14:00-16:00まいぺーす・まいすぺえす

10月6日(金)・・・まいぺーす・まいすぺえす

10月11日(水)・・・10:00-14:00 オープンスペース 14:00-16:00まいぺーす・まいすぺえす

1. 10月の行事予定

- ・イベント(焼き芋などの食べる企画)は、予約制にしてはどうか ➡ **予約受付** イベントの10日前~2日前
それに伴い、イベントなどのお知らせを早めに掲示する。

2. その他

・ママの誕生会について

【スタッフより】

たいむ室内の掲示板に詳細を貼り、お母さん方の声を取り入れながら、楽しく・ゆったりとできる誕生会にした。

- ・誕生月のお母さん方に、スタッフからママcafeをプレゼントしているが、ママcafeが浸透していないのではないか。
- ・一時保育の説明文のようにママcafeの説明文を室内の掲示板に張り出してはどうか。

・ママ情報コーナーを設けてはどうか

- ・お母さん方のストレス解消法、子育てやランチなどの情報なんでもOK。
- ・模造紙などに付箋で情報を貼り付け、それに対して、誰でも付箋を貼って意見交換ができるようにする。
- ・情報毎に付箋の色を分け、毎月ファイリングしていく。

【スタッフより】

以前も地域情報やおすすめコーナーを掲示したことがあったが、なかなか情報を提供する側が少ない。しかし、今回の案は面白い企画だと思うので、お母さん方と楽しく行ってみたい。

・まんぶくCAFE(こども食堂) (8月の運営会議にての議題の続き)

- ①たいむの利用者はまんぶくCAFEの利用を控えた方がよいのか?
- ②本来の趣旨は何か?

【スタッフより】

・たいむのねらいとしては、地域の交流にもつなげられるようにしたい。

・まんぶくCAFEは2年目になったが、まだ浸透していないとも感じている。しかし、参加者が多くなりすぎて、落ち着いた雰囲気が崩れることも懸念している。

・いつでも、誰でも利用できる食堂であり、交流・居場所づくりの空間である。(みんなで集える場)

・貧困家庭に限定しない。子どもだけでも来られる環境が望ましい。

・石井ゼミの企画について ➡ 10月より月2回程度、学生企画を行う。

(紙面をご参照ください)

次回は、10月下旬を予定

- ・11月の行事予定などを検討

*たいむでは、本来、**利用者と一緒に創る広場**を目指しています。

今年度より、利用者の視点をさらに入れていきたいという想いと、広場の内容をもっと利用者にも可視化するために、「たいむを育てる会(運営会議)」を開催しています。

(運営委員は、2月から募集をかけ、立候補してくださった6名の利用者の方です)